

情報発信例 ～学校ウェブサイトの活用法～

宮城教育県研修センター 防災教育グループ

学校ウェブサイトは、各校の教育方針や特色を表す「学校の顔」とも呼ばれています。ウェブサイトを活用して防災に関する取組や情報を発信することには、学校の防災意識の高さを伝えることはもちろんのこと、保護者や地域の防災意識を高めることにもつながると考えられます。

学校ウェブサイトを活用した、防災に関する情報発信の例をいくつか紹介します。

1 ウェブサイトで「防災」を取り扱う際のポイント

Point 1 防災に関する取組の現状を無理なく紹介

避難訓練の様子や災害発生時のマニュアル、職員の校内研修等、ウェブサイトで紹介したい各学校の取組や話題は様々なものが考えられます。これらは教育計画や学校便り等の原稿としてデータ化されていることが多く、ウェブサイトに無理なく使うことができます。編集作業に必要以上に時間と労力をかけて更新が滞るよりも、手軽に最新情報を発信できるウェブサイトの運営を目指すことが大切です。

Point 2 トップページに目立つように「防災」を配置

防災は児童生徒等の命を守る重要な取組であり、学校教育においても重要な位置付けであることを考えると、防災のバナーはトップページに配置したいものです。さらに、大きさや配色などを工夫することで、利用者の目に触れやすくするとよいでしょう。

Point 3 防災に関するサイトを設けて情報を発信

多くの学校が、避難訓練の様子をブログとして紹介していますが、断片的・単発的な印象を与えてしまいがちです。また、防災に関わる連絡を「お知らせ」「学校便り」などのサイト内に配置すると、時間とともに目に触れにくくなる恐れがあります。防災に関する情報を体系的に整理し、必要な情報をいつでも見られるようにするためにも、防災に関するサイトを作成して情報を一元的に発信することを勧めます。

2 ウェブサイト活用の具体例



例1 「防災の取組」について

「避難訓練の様子」や「授業で作成した防災マップ」, 「AED 講習会の開催」「災害対策用品の購入」など, 防災に関する児童生徒, 職員の取組をひとまとめにして紹介できるようにします。

また, 定期的・継続的に発信できる情報(防災主任の取組紹介, 放射能測定値など)があれば, 専用のバナーを作成した方がよいでしょう。

例2 「緊急連絡」について

台風や地震等の情報や不審者情報などを周知し, それに伴う学校の対応(臨時休業や登校時刻変更の措置)や各家庭へのお願いなども伝えます。携帯電話への緊急メールと併用すれば, より効果的です。

例3 「緊急時の対応」について

様々な自然災害等に対して, あらかじめ定めている対応(マニュアル)を常に閲覧できるようにしておきます。年度始めにもプリント等で配付するかもしれませんが, 学校と保護者が緊急時において, 迅速かつ適切な対応ができるように備えておくことが大切です。

また, 市町村や学校等で作成した「ハザードマップ」をダウンロードできるようにしておけば, 災害の想定や避難場所の位置を確認することができ, 地域の方々に広く役立つものになるでしょう。



「緊急時の対応」の例 (石巻市立石巻小学校ウェブサイトより)



「避難場所等を示した周辺地図」の例 (仙台市立宮城野中学校ウェブサイトより)

例4 「リンク集」について

防災教育に役立ち, 防災に関する情報源としても信頼できる「気象庁ウェブサイト」は, リンクできるようにしておきたいサイトの一つです。保護者や地域の方々に対して閲覧を促すことができるでしょう。

他にも, 県や市町村のウェブサイト等, 防災に役立つサイトに簡単にアクセスできる環境を整えておくことをお勧めします。



「気象庁ウェブサイト」

その他

宮城県内で実際に取り組まれている例として, 「東日本大震災に関する記録集」や「学校(地域)の復興の様子」, 「支援に対する御礼」等をウェブサイトで紹介している学校があります。